




毎日の業務中での「一コマ」紹介！ (社員の感想等)
業務日報の中から、一部をご紹介します (H29/3~)


 ○保守点検で訪問したらお客さまがイノシシを解体されていた。「今日はボタン鍋にする」とのことで、まさに、ジビエ料理だと思った。3/7

 ○ブロワモーター周辺に枯葉がたまっていたので、掃き掃除をしたところ、お客さまに喜んでいただいた。3/16

○とある集合住宅での清掃作業中に近隣方より、車両の駐車位置についてご指摘をいただいた。次年度は同じご指摘をいただくことがないように台帳に記帳した。4/18


○幼稚園の送迎バスが来たが「行かない」とぐずっているところに遭遇した。自分の小さいころを思い出しほほえましく思った。3/14


 ○娘の卒業式でした。保護者代表の挨拶で緊張したが無事終わり、思い出に残る卒業式になった。3/24
 ○大雨になったが、先日の降灰を流してくれたことは、恵みの雨となっただろう。5/9

 ○お茶を生産されているお客さまが「今年はお茶の成長が遅い」と話されてました。5/2
 ○イチゴの生産をされておいでのお客さまに、出荷前の真っ赤なイチゴを見せていただいた。

○今日は、目によくゴミが入ると思っていたら、桜島の降灰だった。久々の降灰だった。4/4

○水質測定の際中にわざわざ畑から野菜を採ってきてくださり「食べなさい〜」と持たせて下さった。3/1
 ○春山地区があちこち造成され家の多さにびっくりします。4/18

 ○田んぼをお持ちのお客さまが「これからいよいよ忙しくなる」と仰せでした。5/6

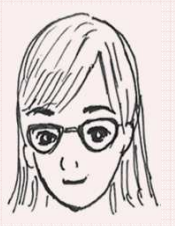
 ○晴天が続く暑くなってくると、マンホールの蓋が熱さで膨張して、開かないことが出てくる。ペットボトルに水の用意するが、冷たい水道水をお借りして冷縮させたり場合によっては少し叩かないと開かないこともある。やむを得ず叩くとお客さまより誤解を招くことも出てくる季節です。。。5/6

新しい仲間です ~ご指導宜しくお願いします~

池田健二
 □歴史好きで「西郷さんと新撰組」が特に好きです
 □浄化槽保守点検に30年以上携わってきました。経験を活かし、お客さまからご信頼いただけるような仕事を目標として頑張ります！



上野朋子
 □趣味：映画鑑賞
 □何事にも積極的に取り組み、業務を正確にこなせるように頑張ります！



山中美穂
 □趣味：吹奏楽
 □早く一人前になり一つ一つ丁寧な仕事ができるように頑張ります



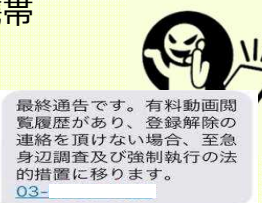
携帯電話への詐欺メールに注意

弊社お客さまより「携帯電話に不審メールが届いた。私の携帯はガラケー（少し前の携帯電話のこと）でインターネットはしていない。何の料金のことかわからない。」「至急連絡をくださいと書いてあるが、どうしたらいいだろうか？詐欺メールではないかな？」とのご相談でした。

弊社では「詐欺メールと思われるので電話、返信一切しないで無視してください」とお答えしました。後日、お客さまよりご連絡があり「念のため携帯電話会社に行って聞いたら、「完全に詐欺メールです。相手は手当たり次第にメールを送りつけ、電話連絡のあった人の個人情報を出し不安を煽り、電話や手紙で支払いの督促をします電話は絶対にしないで下さい。無視するのが一番です。」と言われた」とのことでした。

最近、このような詐欺事件が多く発生しています。「私は大丈夫」と思っている、言葉巧みに不安を煽りお金を振り込ませます。コンビニで「プリペイドカード (金券の類)」を大量に購入させて郵便で送らせることも聞いています。

(メール内容の一部) Webコンテンツの利用履歴があり退会確認が取れない為、料金が発生しております。至急、退会のご連絡をください。有名企業名窓口・電話〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 担当 〇〇まで



最終通告です。有料動画閲覧履歴があり、登録解除の連絡を頂けない場合、至急身辺調査及び強制執行の法的措置に移ります。03-



かたいもんそ

第49号
 発行所 株式会社 文化社
 本社 鹿児島市新栄町22-26
 TEL 099-256-0075
 支店 日置市伊集院町1264-3
 TEL 099-273-2588

平成15年5月創刊 「かたいもんそ」は、<http://bunka-inc.jp>にてご覧いただけます。49号は平成29年6月1日より配布開始しています。
 先の地震や天災でお亡くなりになられた方、不自由な生活を余儀なくされておいでの多くの皆様に対し御冥福をお祈りし、引き続き一刻も早い復興・再建を祈念しております。

先日、薬丸野太刀自顕流保存会の総師範（80歳を超え体力気力共に充実）のお話し聞く機会がありました。自顕流は、競技や順位付けのない古武道の1つで、稽古姿勢、門弟経過年数や審査等により『段位』が授与される。この『段位』は「人との優劣や順位で決まるのではない、その段位にふさわしい人格や姿勢を備えてください」という意味を込められて「授与する段位です」とのことでした。家庭でも組織（企業/寄合/行政）でも同様ですが、集団の長は「権力、能力、雄弁」等で決めるのではなく「『人格』によって選ばれることで組織全体や周辺まで幸せになる」と思うことがあり、明治維新の立役者の先輩方も研鑽されたであろう「自顕流の段位」のことと合わせて考えたことでした。



社長：土屋 孝九

ボランティア 公園遊具・水廻り機器点検活動
 ~ 鹿児島市管工事組合 ~

4月15日（土）鹿児島市管工事組合が市内630カ所の公園で行なっている恒例の取り組みで「遊具や水廻りの点検・公園の清掃」のボランティア活動に参加しました。当日8:30に市役所前のひろばで出発式があり、弊社社員10名が担当した公園での作業に汗を流しました。



ボランティア 郡山・八重山登山道の清掃
 ~ 郡山商工会ハイキング事業に向けて ~

5月1日（月）、郡山の八重山登山道の清掃ボランティアを社員6名で行いました。郡山商工会が計画しているハイキング事業への趣旨に賛同し、実施しているものです。人の往来も少ないこの1年間に降り積もった落ち葉や倒木などを払い、「歩きやすいハイキング道になれば」との思いです。当日は天気も良く、気持ちの良い汗をかきながら、作業を行いました。



健康づくり 第2回 鹿児島マラソン2017
 ~ 21名応募 14名当選参加! ~

3月5日（日）開催されました鹿児島マラソンは、小雨の降る肌寒い中、14名の社員が参加しました。4名のリタイアがありましたが、フルマラソンに参加した3名は、なんと！完走しました！これも練習の成果なのか、沿道の応援の力なのか、意地（笑）なのかは、わかりませんが・・・当日は、沿道に沢山のボランティアの方やダンスパフォーマンスや太鼓の応援など、苦しい時に本当に力になりました。ありがとうございました。また、車1台通らない町中や10号線を走れることは滅多にない貴重な体験になり、「来年も走ってみようかな」との社員の声もチラホラ？出ていました。





2018年 明治維新150周年・・・

NHK大河ドラマ「西郷（せご）どん」決定!!!

2018年は明治維新から150年。NHKの大河ドラマも「西郷（せご）どん」が決定しました。歴史に興味のない方も、大河ドラマは見るという方も多いのではないのでしょうか。幕末から明治にかけては鹿児島の多くの偉人が明治維新に大きく関わっています。今号では、その中の一人「有馬新七」について紹介したいと思います。

有馬新七は、伊集院郷古城村（現在の伊集院町古城）に生まれ、剣術では直心陰流を学び文武両道の武士であったそうです。19歳の時江戸へ出て、山口管山などに師事したことから、次第に攘夷派へと思想が傾いていきました。そんな中、文久2年（1862年）薩摩藩国父である島津久光公が「公武合体」を推進しようと京都へ入京しました。そのことを知った新七ら「攘夷派」は、一足早く入京し長州藩 久坂玄瑞らと図って、京都所司代の酒井忠義を暗殺する計画を実行しようとしています。

しかし、久光がこの計画を察知し、奈良原繁ら9人の薩摩藩士を説得に当たらせましたが決裂。同じ薩摩藩士同士での壮絶な斬りあいの中、新七の刀が折れ素手で相手を抱え、壁に押し付けたところを、同志に「おいごと刺せ！おいごと刺せ！」と絶叫し、相手を道ずれに絶命しました。このシーンは、大河ドラマ「篤姫」の中にも出てきたのでご記憶の方もおいでになると思います。これが最初の「寺田屋事件」です。もう一つ、は、「坂本龍馬で有名な寺田屋事件」です。この時、斬りあいに参加せず2階に待機していた他の攘夷派は投降しましたが、その中には後に大活躍する大山巖や西郷従道や篠原国幹がいました。

歴史に「もし？」はありませんが、新七が生きていたら日本の近代史が大きく変わっていたかもしれません。思想や手段が違えど、日本の未来を案じた結果であり命を賭して志を貫徹する思いは、今だからこそ学ぶべきかも。。。 (wikipediaより一部抜粋)

(伊集院町徳重)



(伊集院町下谷口)



平野国臣の歌碑 (伊集院町)

「わが胸の燃ゆる思ひにくらぶれば・・・」

有馬新七と関わりのある人物で平野国臣という方がいます。「わが胸の燃ゆる思ひにくらぶれば 煙はうすし桜島山」を歌った方です。平野国臣は、福岡藩士で江戸や長崎に赴任し、31歳の時に脱藩。その後幕末の志士として東奔西走し、各地の攘夷派と交流。その中で、西郷、大久保や有馬が結成した「精忠派」と出会っていたと思われます。島津斉彬の側近の西郷隆盛とも交流し意気投合しました。井伊直弼が尊王攘夷派を弾圧した安政の大獄で、西郷は薩摩と公家の橋渡しを務め追われる身となった僧侶「月照」と京都を脱出。自身は先に薩摩へ向かい月照の警護を平野に託しました。しかし、薩摩藩は月照達の入国を拒否。途方に暮れた西郷と月照は入水自殺を図りましたが、月照は死亡し、西郷は平野たちのおかげで一命を取り留めました。その後平野は身を隠しながらチャンスがうかがって、再度薩摩に入国しようとしたのですが、大久保利通から入国不可能の伝言が届き、引き上げる途中で詠んだ歌が冒頭の「わが胸の」という事です。この歌碑は、伊集院町の城山トンネルを妙円寺団地方向に200m位の所に建立され、この近くから見えた桜島を歌ったそうです。



22年ぶりに棒踊りが復活!! (皆与志町上町内会)

平成29年3月5日(日)鹿児島市皆与志町の上地域の公民館で22年ぶりに復活し住民に披露された「皆与志町上棒踊り」を、取材させていただきました。当日の天候はあいにくの雨でしたが、棒踊りが始まった午後1時半からは回復し、22年ぶりとは思えない糸乱れぬ勇壮で荒々しい踊り、そして気合のこもった掛け声に、公民館に集まった大勢の住民から声援が送られました。



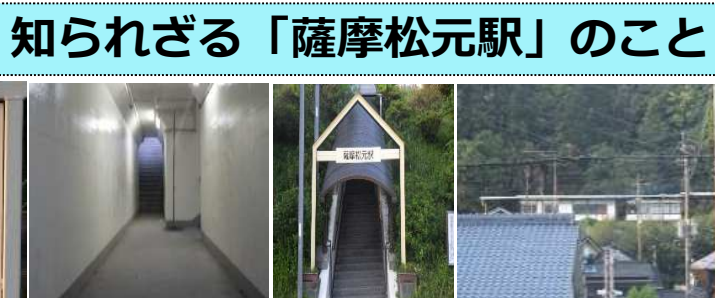
棒踊りの復活について (皆与志町上町内会長・地福孝明様)

皆与志町上地域は、昭和40年代は90世帯近くありましたが、現在では40世帯(約100人)となり限界集落に近い状態となっています。ほとんどが昔からの住民で構成されており、住民どうしの繋がりは深いのですが幼児4人、小学生3人、中学生が3人と少子高齢化が進んでいます。そして、五穀豊穡や無病息災を願って開催されてきた地域の伝統行事である棒踊りは、少子高齢化と若者の地域外流出により平成6年に途絶えてしまいました。これまで何回も棒踊り復活の声が上がっては消える状況でした。

そんな中、昨年12月に鹿児島市主催の「ふるさとコンサート」が皆与志小学校で開催されることになり、市の担当者から「地元からも伝統行事を披露できないか」と要請があり、昔の踊り経験者に呼び掛けられたところ、意気に感じた人が集まり、2ヶ月あまりの猛稽古の成果をコンサートで披露できました。

実に22年ぶりの復活でした。皆与志町上棒踊りは、鹿児島神宮(隼人町)の流れをくむもので、明治初期に現在の本城町(旧吉田町本城)から伝わってきたと云われており、「キヨゲン」「シベ」「鎌」「小無双」「打分」の五つの踊りがあり、その中でも「鎌」「打分」は他地域の棒踊りに比べても特に勇壮で荒々しい棒踊りであると自負しております。昨年12月の「ふるさとコンサート」での披露に続き、本年3月には地域行事の願立祭(ガンタテサイ)でも棒踊りが披露できました。今後これを保存・継承していく活動を続けていくとともに、初夏には蛍も飛び交う自然豊かなこの地域を、ここに住んで良かったと思ってもらえるような、活気ある町内会にしていきたいと考えております。ご協力よろしくお願い申し上げます。

知られざる「薩摩松元駅」のこと



上谷口町の高台にひっそり立つ駅舎。40段余りの階段を上り地下道を抜け、さらに20段。ようやくホームに着く。この駅には、ちょっとしたエピソードがありました。昭和29年に完成したこの駅周辺は旧松元町の前身、上伊集院村の中心であったにもかかわらず、線路はあるものの駅がなく、住民は不便を感じていたそうです。そこで村長らが昭和24年に関係省庁へ申請をしたものの、4年後にやっと認可が降りたそうです。しかし、認可の条件は建設費用の全額地元負担。そこで、村民や村出身者から寄付を募る一方、延べ約2万人の村民がボランティアで建設に参加し、1年後には完成しました。私が通学していた頃は、そんな苦労があったことも知らず小・中学校に通っていましたが、この話を聞いて久しぶり駅に向かいました。通学していた頃は有人駅だったのですが、今は無人駅になっていました。少し寂しい感じがしましたが、この階段を上り車を待つ間、友達や駅員のおじさんと話をしていたことを懐かしく感じた時間でした。(取材:山口治樹)